

地域で活躍する団体を紹介します

(30年度区民活動助成制度対象事業)

品川区では、社会貢献活動等を行っている団体を支援するため、区民の皆さんからの寄付金を積み立てた地域振興基金を原資とし、地域課題等の解決に向けた事業に資金を助成すること(区民活動助成制度)によって、多様な公益活動の活性化を目指しています。

30年度は17の事業が認められましたので、ご紹介します。

◆事業1 品の輪講演会「健康講話」

団体名:品の輪

～品川区リハビリテーションネットワーク～



品川区民のリハビリテーションの啓発・推進・支援等を目的として、健康寿命の延伸や健康づくり等のテーマに沿った講演会を10月に実施。テーマごとに、専門知識を持つ理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等へ講師依頼する。

◆事業2 出前劇場

団体名:出前劇場



毎月3～4回、八潮地区を中心とした品川区内の高齢者施設や高齢者クラブ等を訪問し、利用者との交流を図りつつ参加体験型のメニューを提供する。

◆事業3 生活に役立つスマホの活用法

団体名:生活工房ひとくふう



情報弱者になりがちな高齢者や視覚障がい者向けに、スマホの基本操作やアプリの活用等を学べる講習会を10月に各1回ずつ実施する。

◆事業4 生き生きシニアサロン

団体名:(特非)八潮ハーモニー



毎月1回こみゆにていぷらざ八潮で、講話と交流会からなるシニアサロンを開催する。講話は毎月テーマを設定し、自団体や協働団体、もしくは外部の専門家が担当する。

◆事業5 落語コミュニケーション in 品川
 団体名:(特非)品川こども劇場



品川区内の子どもや地域の方を対象に、年3回の落語会や関連する鑑賞会・ワークショップを実施し、身近な落語を提供することで、伝統芸能の継承と多年齢交流を目指す。

◆事業6 育児交流サロン
 団体名:東京有閑倶楽部



育児に悩む母親とその子どもを対象に、ピアノ生演奏のあるちょっと優雅な空間で地域交流・お悩み相談ができるサロンを年3回実施する。

◆事業7 やってみよう! キッズわくわくワークショップ
 団体名:Yumemilu



小学生の親子を対象に、心理学的なノウハウを活かしたワークショップを年2回実施することで、自己肯定感の向上を図る。前年より1回あたりの開催時間を増やし、内容の充実を図る。

◆事業8 地域と共に、出張「音楽サロン」
 団体名:チーム潮クラブ



高齢者等の心身の健康を増進するため、八潮で歌声音楽サロンを実施する(月1回)。また、福祉施設で出張音楽サロンを無償実施する(月数回)。

◆事業9 品川宿・宿場文化研究
 団体名:品川宿史談会



品川宿の歴史を学術的に研究し、年4回有識者を招いた講演会を実施。成果を会報・DVD化し地域に残すとともに、公的機関へ寄贈する。新たに子ども料金を設定するとともに、子ども向けに大道芸の実演を実施する。

◆事業10 飛躍する八潮音楽祭(多世代交流と地域づくりを目指して)
 団体名:(特非)地域の音楽・芸術活動を支援・制作する会 MAPLO



18回目となる八潮音楽祭(12月)を実施する。また、当日までにミニコンサートやサークルの育成支援を行い、プレ八潮音楽祭として地域の交流を図る。

◆事業 11 シニア情報生活アドバイザー養成講座

団体名:(特非)暮らしのIT普及会



概ね 55 歳以上を対象に、「シニア情報生活アドバイザー養成講座」を実施し、受講者の PC・IT 技術の向上を図るとともに、講座受講後に補助講師として地域での活躍の場を提供する。

◆事業 12 ママと小さな子供が立ち寄り、集う場「品川宿いどばた」

団体名:ママかつ@しながわ



「孤育て」に陥りやすい産後ママが、安心して子育てをするための地域の居場所「品川宿いどばた」を運営。講座の場所貸し、相談、食堂運営の他、地域のお祭りで休憩場所として開放する。

◆事業 13 でかけ隊・発表会

団体名:品川失語症友の会



10 月に失語症当事者とその家族による発表会を実施することで、一般参加者の失語症に関する啓蒙を行うとともに、新たな仲間や支援の輪が広がることを目指す。発表会の前後で発表の準備・振り返りを兼ねた相談会を 5 回実施する。

◆事業 14 お話とコンサート

団体名:ト音記号の会 II



子育て支援や地元商店街の活性化など、地域でのコミュニケーションを活性化・顔の見える関係づくりを目指し、第 14 回目となる「お話とコンサート」を 11 月に荏原第五中学校で開催する。

◆事業 15 健康・生きがいメッセ2018

団体名:健康生きがいづくり品川協議会

平成 30 年度品川区地域振興基金助成対象事業

第 4 回健康・生きがいメッセ2018

新・高齢社会シンポジウムinしながわ

日時: 10 月 3 日(水) 13 時 30 分～16 時

会場: スクエア荏原 1F イベントホール

第一部 (13:30～14:30) 基調講演:
「シニアから発進!
世代をつむぐ三方よしの地域づくり」

東京都健康長寿医療センター研究所
社会参加と地域保健研究チーム研究部長
藤原 佳典 先生

■ 難聴の方へのサポートをさせていただきます。お気軽にお申し出下さい。

地域包括ケアの観点から「元気な高齢者」「生きがい」等をテーマに『健康・生きがいメッセ 2018』を開催する(12/8 会場スクエア荏原)。各団体の活動紹介や交流等を実施する。それに先立ち、10 月 3 日に上記プレイベントを開催する。

◆事業 16 ご近所芸術文化祭

～誰もが先生、誰もが生徒～

団体名:ご近所芸術文化祭実行委員会
(ご近所大学うなどこキャンパス)



8 月～11 月の間に 10 回程度、北品川のシェアスペース「うなぎのねどこ」にて講座を企画運営することで、多世代の誰もが気軽に先生・生徒となる機会を創出し、地域の埋もれた人材を発掘する。

◆事業 17 西大井多世代交流プロジェクト 団体名:けめカフェ



2ヶ月に1~2回程度、けめもの家・西大井にて多世代向けイベントを実施することで、地域における「ゆるやかな連携」を醸成し、地域包括ケア構築への寄与を目指す。8月と2月には講演会を実施する。

区民活動助成制度の活用

住みよい地域づくりに助成制度を活用しましょう。

今号では、30年度に区民活動助成制度により助成対象となった団体(事業)の概要を紹介しました。詳細については地域活動課で配布する実施要領、区HP、区民活動情報サイト「しながわすまいるネット」の団体ページ等で確認できますので、ご興味のある方は、ぜひご覧ください。

地域振興基金を活用した区民活動助成制度のおしらせ

<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000008700/hpg000008681.htm>



ご案内

地域活動・NPO 活動団体基礎講座 「夢をかなえる団体への一步～第二弾」

11月以降に以下の講座を開催する予定で準備をしています。10月11日より募集開始しますので、広報しながわ、チラシ、インターネット等で詳細を確認の上、お申し込みください。

内容：組織基盤整備についての講義とワークショップならびに資金調達について
講師：日本NPOセンターより(予定)
対象：品川区内で活動するNPO、ボランティア団体等20団体40名

ご報告

IT時代の協働～シビックテックとは？

7月11日(水)18:30より、生粋の品川育ちでCode for Shinagawaの原亮氏を講師にお招きし、学習会を開催しました。会員の皆さんなど26名が参加し、とても分かりやすいお話に耳を傾けました。

ITの進化が市民活動の発展の背景にあることは確かですが、最近ではオープンデータという考え方が全国の自治体に広がり、それが新しい官民協働という流れを作り始めているというのです。人口減、超高齢化社会の到来を前提に、行政はデータ整備とコーディネートに努め、ITが苦手な人も得意な人たちと手を組み、市民自らが課題解決と未来創造の担い手に！！とのエールをいただきました。これが、市民(Civic)+IT(Technology)=シビックテックです。



協働ネットワークしながわ入会方法

「協働ネットワークしながわ」は、どなたでも入会できる会員制です。いろいろなお考えや想い、多種多様なカテゴリーの35人の個人、41団体のネットワークです。

施設見学会、学習会、情報交換会などを行っています。協働に関心のある方、区民活動助成制度にご質問のある方などは、下記にお気軽に問い合わせてください。

窓口：品川区地域活動課 協働推進係
〒140-8715 品川区広町2-1-36
☎ 5742-6693 Fax 5742-6878
✉ chikikat-kyodo@city.shinagawa.tokyo.jp



22号編集責任者：恩田憲一

✉ onda_112127@an.em-net.ne.jp